

# 平成30年度 筑豊地区中学校新人体育大会 柔道大会要項

主催 筑豊地区中学校体育連盟  
遠中地区各市町教育委員会

## 1 日 時

平成30年12月22日(土)

受付 8時00分  
体重計測 8時15分から  
8時45分まで  
監督会議 9時00分  
開会式 9時15分  
競技開始 9時30分

## 2 会 場

岡垣町民武道館(岡垣町野間南4-1) TEL 093-282-6111

## 3 参加資格

- 筑豊地区中学校新人体育大会開催基準及び『特別規定』による。
- 引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員(部活動指導員を含む)とする。ただし、教育職員(部活動指導員を含む)以外のコーチは、学校長が認め、筑豊地区中体連に登録し承認を受けた者とする。

## 4 参加制限

団		嘉飯	田川	遠中	直鞍	合計
体	男子	4	1	5	2	12
	女子	オープン参加				

## 5 表 彰

男子は3位、女子は3位までを表彰する。

## 6 県大会出場資格

男女ともに4位以内は、県大会出場の資格を得る。

## 7 申し込み・プログラム編成会議

- 期 日 平成30年12月10日(月) 14:00~
- 場 所 中間市立中間東中学校(住所・連絡先は下記参照)

※ 各地区専門部長は、申し込みをまとめてプロ編に参加すること。

## 8 各地区専門部長

地区	氏 名	学校名	学 校 住 所	TEL	FAX	専門部長
田川	吉村 祐介	川崎	〒827-0003 川崎町大字川崎 3670	0947-73-2013	0947-48-4004	
直鞍	森永 修三	直方二	〒822-0002 直方市頓野 4082	0949-26-0657	0949-26-0659	
遠中	小早川 知徳	芦屋	〒8070113 芦屋町中ノ浜 10-74	093-223-0058	093-223-0511	
嘉飯	井上 邦治	山田	〒821-0011 嘉麻市下山田 2	0948-52-0077	0948-52-0177	
遠中	戸川 博文	中間東	〒809-0023 中間市扇ヶ浦 3-21-1	093-244-3533	093-244-3815	○

## 9 出場制限

団体戦の選手は、男子7名、女子4名以内とする。

## 10 競技方法

〔団体戦〕

- (1) 参加12チームを3組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の1位・2位の計6チームによって決勝トーナメント戦を行う。
- (2) チーム間の勝敗は次のとおりとする。
  - ① 勝者数の多い学校を勝ちとする。
  - ② ①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を勝ちとする。
  - ③ ②で同等の場合は「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
  - ④ ③で同等の場合は「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
  - ⑤ ④で同等の場合、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
- (3) リーグ戦の順位は次のとおりとする。
  - ① 3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。
  - ② ①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多い学校を上位とする。
  - ③ ②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を上位とする。
  - ④ ③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多い学校を上位とする。
  - ⑤ ④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多い学校を上位とする。
  - ⑥ ⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ない学校を上位とする。
  - ⑦ ⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ない学校を上位とする。
  - ⑧ ⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ない学校を上位とする。
  - ⑨ ⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ない学校を上位とする。
  - ⑩ ⑨で同等の場合は、代表戦（1名）により順位決定戦を行う。

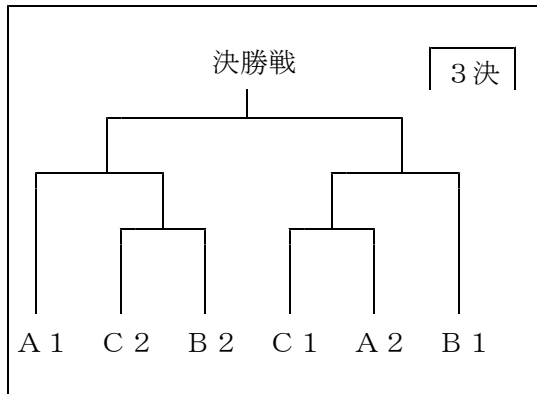
## 11 競技規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2018年施行の新ルール)「少年大会申し合わせ事項」及び本大会の申し合わせ事項による。
- (2) 勝敗の判定基準は、団体戦においては、「一本」「技あり」又は「僅差(指導の差2以上)」とする。  
個人戦においては、「一本」又は「技あり」または「僅差」以上とする。
- (3) 代表戦の判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本線で得点差がない場合、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
- (4) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。  
{「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」}
- (5) 試合時間は、個人戦、団体戦ともに3分間とし、延長戦は無制限とする。
- (6) 競技規則に問題が起こった場合は、専門部会で協議する。
- (7) チーム編成(オーダー)は、体重順とし一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。  
また、選手6.7(選手の4)を入れる場合も同じ。  
(体重が同じ時は新たに入るものが先鋒に近い方とする)
  - ① 試合は、選手5名(女子3名)の対抗戦とする。
  - ② オーダーの変更は認めない。
  - ③ 一度退いた選手の再出場は認めない。
  - ④ すでに申込みをしている選手が事故のため変更するときは、大会開始前までに、これを認める。(変更届を学校長名(職印)で提出すること。)※ 変更の手続きとして、すでに登録してある選手6.7(選手4)からの補充を優先に行い、新たに補充する選手が、選手6.7(選手4)に再登録をする。但し、最初から選手6.7(選手4)の登録をしていない場合は、その限りではない。
  - ⑤ 欠員が生じた場合は、先鋒の方から空きとする。
- (8) 柔道衣の色は白色とし、女子の黒帯は、白線入りも可とする。
- (9) 柔道衣にゼッケンを着用して試合をする。(学校名・名字入り)
  - ① 布地は白色とし、サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。
  - ② 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
  - ③ 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。
  - ④ 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
  - ⑤ 襟から5cm~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (10) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。(全日本柔道連盟が定める規定・平成25年4月1日より施行)
- (11) 団体戦・個人戦出場選手は、指定された期日・時間帯に体重測定を必ず行うこと。  
また、計測を受けなかったチーム・選手は、出場を辞退したものとす。
- (12) 柔道衣コントロールは、従来通りの方法で実施する。

## 12 申し合わせ・組み合わせ

- (1) 服装・頭髪・まゆ毛等の乱れがある生徒については、各顧問が責任を持って試合前までに指導する。なお、改善が見られないようであれば、本大会に出場できない場合もあり得る。
- (2) 競技開始前にマナーチェックを行う。違反がある場合は、当該学校顧問、会長、専門部長と協議する。
- (3) 外部指導者の服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守って指導にあたる。
- (4) AEDは入口横管理室に設置している。

### 【男子決勝トーナメント】



- ※ 組み合わせは、プログラム編成時に行う。
- ※ 試合終了後、全員で後片付けを行う。
- ※ 引率教員全員で反省会を行う。